



議会だより

第十四号

平成7年11月10日

発行／岡垣町議会 編集／議会広報委員会

〒811-42福岡県遠賀郡岡垣町大字野間697-1 TEL(093)282-1211 FAX(093)283-3027



秋の香りを満喫する一日

東黒山の梅野みかん園



城山登山

もくじ

定例会と臨時会の概要 …… 2～3

一般質問ほか …… 4～8

委員会だより …… 9

シリーズほか …… 10

議会だよりは資源保護のため再生紙を使用しています。

平成7年第二回定例会

第三回定例会は、9月7日から22日まで開催され、町長から政治倫理の確立のための資産等の公開に関する条例の制定、在宅介護支援センター運営事業委託等に伴う一般会計予算の補正、水道事業会計決算認定など、七議案の提案と一件の報告が、議員から核実験に反対する決議など、三件の決議が提案され、可決十件という結果になりました。

監査委員の選任について

(同意)



竹井幸則さん

内浦の竹井幸則さんが、平成7年9月7日に就任されました。
今後四年間岡垣町の監査をしていただきます。

政治倫理の確立のための岡垣町長の資産等の公開に関する条例の制定について

(可決)

町長の資産等の状況を町民に公開することにより、政治倫理の確立を期し、民主政治の健全な発展に役立つための条例の制定です。詳細は10ページの【用語解説】で解説しています。

平成7年度岡垣町一般会計補正予算(第3号)

(可決)

今回は、在宅のねたきり老人等の介護者に対し、在宅介護の総合的な相談業務を24時間体制で対応する在宅介護支援センター運営事業や、松ヶ台グラウンドのトイレ建築工事の実施、及び駅前町の町営駐車場用地購

入費などにもなう予算補正です。
これにより、歳入歳出とも二億四千三百四万一千円が増額され、予算総額は八十三億六千九百三十一万一千円となりました。

平成7年度岡垣町公共水道事業特別会計補正予算(第1号)

(可決)

今回は、都市計画道路赤井手・源十郎線の一部の下水道管理設事業と、汚水の増大により汚泥処理を早めるための処理場機械濃縮設備の設計委託などの予算補正です。

歳入歳出とも一億四千五百十万円が増額され、予算総額は十五億六千六十万円となりました。

平成6年度岡垣町水道事業会計決算認定について

(賛成多数認定)

平成6年度の水道事業の成果を示したものです。収益的収入四億四千六百四十一万九千円、収益的支出四億一千五百七十四万二



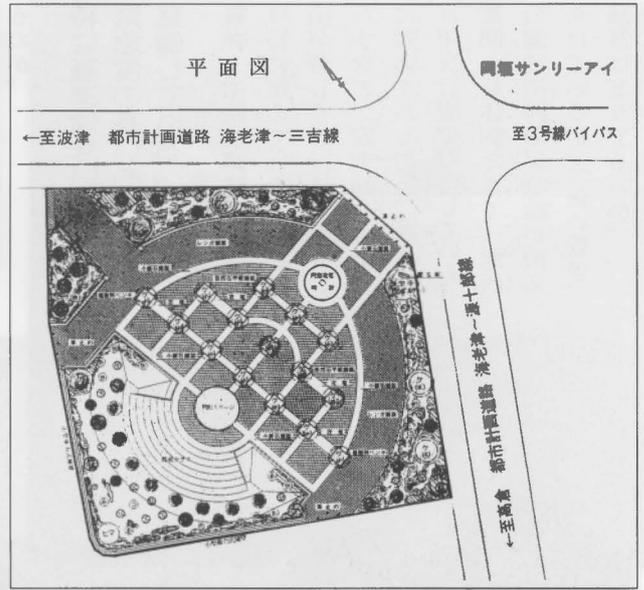
昼夜をとわず漏水調査が行われています

千円、資本的収入九千二百十三万五千円、資本的支出一億七千七百六十九万一千円となっています。

監査委員は審査意見書の中で、経営成績、財政状態はおおむね適正と評価する。旧慣による公有財産の用途廃止について

(可決)

高倉シシ堀ため池を、おかがき福祉の里建設事業用地として使用するため、ため池が一部用途廃止されました。



修景・休憩を主に計画されているげやき公園概要図

平成7年度岡垣町都市計画公園・げやき公園整備工事請負契約について

(可決)

この公園は面積二千五百㎡で、近隣住民の憩いの場、散歩の拠点として、岡垣サンリーアイ交差点前の新設団地の一角に整備されます。

(可決)

詳細は10ページの【議会ひろば】に掲載しています。

駅周辺再開発に関する調査特別委員会の設置について

(可決)

詳細は8ページの【特別委員会】に掲載しています。

おかがき福祉の里建設特別委員会の設置について

(可決)

詳細は8ページの【特別委員会】に掲載しています。

平成6年度財団法人岡垣サンリーアイ管理公社決算報告について

平成5年7月にオープンしてから今回で二回目の決

算報告が行われました。昨年の4月から今年3月までの利用者数は十五万五千人で、初年度より五万四千人も増加しており、これは全町民が平均で五回利用したことになります。中でも図書館の利用度が高く、蔵書数四万三百冊、利用者数五万三千人、貸出冊数十四万五千八百六十冊と報告されております。施設利用者数は毎年増加しているというものの、会議室等の利用率が低いことなどについて質問があり、



サンリーアイ図書館の利用風景

町長からは、今後生涯学習の拠点施設や文化交流、文化講座などの企画で町民が施設を利用しやすく、しかも役立つ施設へ向けて努力していくとの決意が示されました。

請願・陳情

本定例会に提出された請願、陳情それぞれ各一件の合計二件が審議され、請願は継続審査に、陳情は採択となりました。

臨時議会

請願書(水道本管設置及び防火用消火栓の設置について) (継続審査) 核実験の反対に関する陳情書

(採択)

- 下川路勲 (町議会議員)
- 竹内和男 (町議会議員)
- 松本国夫 (町議会議員)
- 樋高龍治 (商工会会長)
- 生力寛裕 (農業委員)
- 梶原恒雄 (都市計画審議会委員)
- 太田 忠 (町長公室長)
- 宗岡 隆 (総務課長)
- 花田申三 (地域振興課長)
- 吉田晋一 (農林水産課長)
- 刀根大司 (建設課長)
- 須崎義弘 (学識経験者)
- 神村幸彦 (学識経験者)

平成7年第四回臨時議会は8月1日に開催され、町長から集中豪雨による災害箇所の復旧事業等にもなう一般会計予算の補正や、土地開発公社役員の任命について、二件の議案が提案され、いずれも可決されました。

(可決)

岡垣町土地開発公社役員の任命について

(可決)

任期満了にともない、次の方が再任されました。任期は二年です。

- 早川達生 (助役)
- 竹井信正 (町議会議員)
- 木原信次 (町議会議員)
- 山田隆一 (町議会議員)

これにより、歳入歳出とも一億八千五百十三万九千円が増額され、予算総額は八十一億二千七百九十七万円となりました。

一般質問

竹内 和男 議員



道路安全管理面での整備状況をたずねる

質問 道路管理、特に安全確保の上で、道路補修等の整備はどのように考えているのか。

特に基準はないが緊急度の高いものから整備している

答弁 道路補修時期の基準は特に定めていないが、破損が著しく通行に支障をきたすなど、安全面から緊急に対応するものと、その他は年次計画で対応している。
質問 具体例として、旭西公園前道路の区画線が消えかけているが、今後の管理、補修はどうするのか。



通りやすくなった旭西公園前道路

答弁 通常6月頃に地元からの要望をまとめて、9月までに工事を行うが、西部ガスがガスの交換を行っており、これと一体的に工事にかかりたい。

登校拒否対策は万全か

質問 登校拒否の現状及び

対策について、教育委員会の見解を問う。
最大限の努力を傾ける

答弁 登校拒否の生徒・児童は中学校で3名、小学校で1名の合計4名いる。各校へのアドバイザーの配置や、教師の研修・配置の重点化及び教師の相談業務の質の向上をめざして、全力で取り組む。

細川 光利 議員



社会教育施設の充実で宿泊施設が必要だと思ふが

質問 町長が常々強調されていることは、町づくりをするためにはまず人づくりだと言われている。

これは第三次総合計画にふれられている。

その人づくり、町づくり、生涯学習の観点から宿泊もできる多目的な研修施設が必要だと思ふが。

民間活力を含めて前向きに検討したい

答弁 第三次総合計画は来年度より後期計画にはいる。高齢化、情報化、国際化と合わせ心の豊かさが求められており、当町では、人づくり、町づくりのため町職員の意識改革講座に取り組んでいる。



西部公民館の全景

また、国際交流などが深まるにつれて宿泊もできる研修施設の必要性が高まると考えられるので、民間活力を含めて、将来的に検討したい。

現有公共施設で宿泊できないか

質問 当面、現在ある各種公共施設の運用、活用で宿泊研修ができないか。

本年度中に結論を求め

弾力的に検討したい
答弁 幅広く弾力的に活用すべきだとの考えをもっている。

基本的に管理上、法律上どのような問題点があるのか検討を行い、本年度中に結論をだしたい。

質問 住民団体、社会団体の活動は広域的であり、多様な研修や学習が行われており、前向きな検討をお願いする。

安部 正開 議員



地域振興の観点から新エネルギー・産業技術総合開発機構(略称: NEDO)の事業導入についてどのように考えているのか

質問 近年、エネルギー資源の枯渇が問題となり、一方では大量なエネルギー消費に伴う酸性雨や炭酸ガスによる地球規模の環境破壊が大問題となっている。これに対応するため、NEDOは、わが国のエネルギー技術開発の政府機関として、官民の資金、人材、技術力を結集し、着実に進展を遂げている。NEDOの多くの関連事業の中で、新エネルギー、省エネルギー及び産業技術の開発研究並びにこれらの導入普及事業は特に重要な

事業であり、全国で進められている。この事業を当町に誘致することにより、町の振興活性化に十分役立つものと思われるが、町長はどのように考えられているのかお伺いしたい。



新エネルギーの風力発電システム

十分調査を行い取り組む

答弁 私は、今後重要な事業の一つとして積極的に取

り組んで行きたいと考えている。ただしやるからには、中長期的な展望の上に立ち、しっかりとした信念のもとに、条件整備や受け入れ体制を整えて取り組んで行かねばならない。

それには、充分調査研究を行い、議会や関係機関の理解と協力を得ながら進めて行きたい。

海水の汚濁が心配される波津地区



海水の汚濁が心配される波津地区

木村 勝弥 議員



生活雑排水の処理対策を問う

質問 波津地区漁業集落の生活雑排水、湯川地区の生活雑排水は自然排水の状態

地元からの強い要望があれば検討する

答弁 行政施策は、町の隅

であり、海岸の汚染が問題になり、海藻等が著しく減少するなど、今後の生活にも影響することが考えられる。早急に下水道を整備し、安心した生活環境をつくる必要があるので町長の考えをたずねる。

々まで平等に施すことであると思うので、地元からの強い要望と高い加入率等が見込まれるのであれば、できるだけ早く取り組む考えはある。

質問 波津地区への説明会をされたことはあるか。

答弁 地元から要請がないのでしていないが、将来的には農村であろうと漁村であろうと下水道が普及すると思われる。

しかし、現段階の厳しい予算の中では先行投資は不可能であるから、地元から強い要望のあるところから取り上げて説明をしていきたい。

質問 湯川地区の川の水質についてたずねる。

答弁 水質検査をした経緯はないが、地元民の強い要望があれば水質検査を実施し、生活雑排水の処理については合併処理浄化槽の助成を考えている。

矢島 恵子 議員



高齢者の給食サービスは万全か

質問 給食サービスについて今後の計画を問う。

センター方式に近い形で努力して行きたい

答弁 福祉の里ができるまでは、中央公民館で現状どうり行うが、今後高齢者の増加と需要の増加が予測され、ボランティアだけの対応にも限度があるので、他に民間委託も考えていく。

理想としては、学校給食をセンター方式にして、そこを利用して老人の給食も

と考えているが、労使の問題、PTAの自校炊飯支持が圧倒的に多いなど、厳しい状況にあるので、将来的には、それに近い形に努力して行きたい。

質問 福祉の里の調理室設



食進会の調理風景

備について問う。

答弁 スペースは中央公民館より若干広く、設備内容も食進会の意見を聞いて、ほぼそれをクリアするよ

うな形で努力する。不足分は今後検討し、考

えていく。

質問 利用者にとって使い勝手の良い施設になるよう

お願いする。

質問 緊急システムのペントの利用状況を問う。

答弁 昨年度六十台、本年度四十台予算化している。

質問 独居老人以外の核家族高齢者にも利用の幅を広げることにはできないか。

答弁 独居者が現在五百四名であり弾力的な運営をしたいが、独居者以外まで範囲を広げることにはできない。

環境美化体制を問う

質問 環境美化の監視員等をつくる考えはないか。

答弁 毎週、月曜日、火曜日にシルバー人材センターに委託し、全町環境パトロールという形で重点的に行っているので、この方法で

実施して行きたい。

曾宮 良寿 議員



住居表示の実施について問う

質問 昨年12月議会で、実施する旨答弁があったが、その後の計画の進みぐあいについてたずねる。

現在準備作業中である

答弁 現在、行政内各課で事務量調査など準備作業に入っており、本年度から9年度まで実施計画の策定、審議会の設置、条例の整備等を行い平成10年度より実施したい。

消防体制について問う

質問 高齢者、在宅介護者世帯に対する消防体制、特に出火時の体制の確立をどのように図って行くのか。



地区の消火栓での防火訓練風景

自衛消防の育成に力を入れたい

答弁 高齢者等の状況資料をもとに、区長を通じて隣組の地域の協力を得られるよう、また消防団にも対応をお願いするようにしたい。

質問 地域住民に対する初期消火などの防災指導、訓練を積極的に進めていく上で、地域消防団に対する費用弁償等を支給する考えはないか。

答弁 住民に対する組織的

な指導、訓練等には、来年度からでも支給にするような方向で検討して行きたい。

質問 これからの消防防災の主役は女性と高齢者であるとの考えから、日頃の指導訓練に携わっていただけに女性消防団員の任用を積極的に各分団にはたらきかけていくつもりはないか。

答弁 消防団員になろうという方々が年々少なくなっていく中で、団員の欠員補充というところで考えて行きたい。



機械の共同利用で高生産性農業を目指す
原営農組合(稲刈り)

山田 隆一 議員



これからの農業政策を
たずねる

質問 ガットウルグアイラ
ウンド対策をたずねる。

答弁 ハード事業費として
平成6年度は三億六千六百
万円、平成7年度は三億四
千万円である。

平成8年〜12年度までは

た農業の活性化を図って行
くことである。

当町においてもこの制度
に重点的に取り組み、全面
的にバックアップして行き
たい。

質問 認定農業者に認定さ
れるとどういったメリット
があるのか。

答弁 担い手農家が、経営
規模拡大、農用地の集積な
ど、経営改善を図るときに、
大型で長期資金融資等、金
利面、税制面の特例がある。

質問 認定方法及び認定状
況についてたずねる。

答弁 原則として六十五歳
未満の専業の農家が対象で
ある。

第一次の認定期間は、平
成7年〜12年までとなつて
おり、現在は八名を認定し
ているが、最終的には一〇
五名の認定を目標としてい
る。

質問 認定農業者制度の重
要性からみて、現状の認定
状況ではものたりないと思
うが。

答弁 制度の重要性を十分
認識し、積極的に推進して
行きたい。

平山 弘 議員



ゴルフ場建設を
中止せよ

質問 住民は「地下水と自
然環境を守れ」と、ゴルフ
場建設に反対している。

町が実施したアンケート
の結果も「自然環境を生か
した町」を望んでいる。
町民の意志を尊重してゴ

ルフ場建設を中止すべきで
はないか。

中止については
考えていない

答弁 ゴルフ場建設を取り
巻く状況は一段と厳しい。

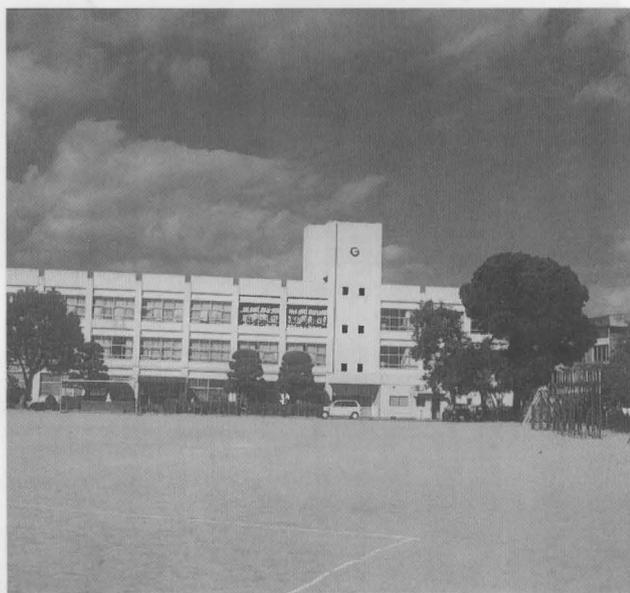
他県での系列会社は行き先
不安な状況である。

本町では、業者に完工が
確実なものとするため、

① 住金鋼材の予備審査前
の全面支援の完工保証書

② 住金鋼材の他、同等以
上又は大手ゼネコンの工
事完成保証書

③ 申請者の完工誓約書



山田小学校の全景

などの提出を求めている。

したがって、ゴルフ場建
設の中止は考えていない。

質問 業者は条件を整える
と考えているのか。

答弁 非常に厳しい条件で
もあり判断できない。

質問 八女市長は「住民の
反対もあり、県の許可の見
込みもない」とゴルフ場建
設の中止を決定した。

本町も白紙撤回できない
か。

答弁 撤回する意思はない。

山田小学校の大規模
改修を早急に

質問

学校教育は、機能的
で快適な環境が要求される。
山田小の施設の状態は放
置できないと思うが。

財政事情が許せば
前向きに対処する

答弁 築後三十二年、ご指
摘のように老朽化している。
海老津小学校舎にたわみ
が生じたので先にした。

山田小は平成11年度の予
定であるが、現状から緊急
性は認識している。

委員会だより

総務常任委員会

阪神淡路大震災の 現地視察に行く

9月27日から29日にかけて、阪神・淡路大震災で大きな被害をうけた神戸市、北淡町の両自治体の視察を行いました。

今回の視察の目的は、岡垣町の防災計画の見直しを計るうえで、どの様な課題

や問題点及び改善点があるのか、調査・研究することでした。

視察先の神戸市では、市役所2号館の解体中であり、淡路島の北淡町では、野島活断層を目のあたりにしました。

阪神淡路大震災で露呈した、防災・救援の立ち遅れと混乱は、「災害に強い日本」が幻想に過ぎなかった事を白日の下にさらけ出しています。

これらの経験を生かし、岡垣町防災計画への提言ができればと思っています。



野島活断層（北淡町）を視察する委員

文教厚生常任委員会

福祉・教育関係施設の 調査を実施

当委員会では、閉会中の調査研究活動として、所管事項である学校教育施設の現地調査及び意見交換を二日間の日程で行いました。

施設の状態は、岡垣中学校、内浦小学校、戸切小学校、海老津小学校の一部計四校が大規模改造にて整備済みです。

残りについては、財政計画に基づき整備される予定です。

学校長より、経営方針と週五日制及びいじめ問題の対応について、意見を聞く等幅広く調査研究を行いました。



武道館の調査をする委員

9月定例議会中に、社会教育課と福祉課に係る各施設の現地調査を行い、施設の設定状況、管理状況などの問題点を、早く整備するよう関係課に要望しております。

経済建設常任委員会

集中豪雨の災害現場を 視察

今年の6月下旬から7月上旬の驚異とも言える集中豪雨が、岡垣町に大災害をもたらしました。

公共災害36箇所、農林災害50箇所、合計86箇所は被害甚大であり、被害総額は一億四千八百万円となり予



ため池の現地調査をする委員

想もしなかったところで。当経済建設常任委員会としては、直ちに、ため池、道路、林地、農道、河川等の崩壊・決壊した災害地の現地調査を行い、状況を把握しました。

今回の調査で特に感じたことは、海老津宇後口のため池での災害防止のため、地元の方々並びに消防団等で迅速な行動をされたことについて敬意を表します。

議会ひろば

核実験再開に抗議

今世界は、半世紀続いた冷戦が終わり、地球を滅亡させる威力をもつ核兵器に對する恐怖感が急速に高まっています。

そうした中であつて中国・フランス両国が突如核実験を再開しました。

岡垣町は、過去に『核兵器廃絶平和の町宣言』を決議しています。

核実験に反対する決議

今世界は、40数年間続いた冷戦、軍拡競争に終わりを告げ、人類の恒久の平和に向かつて、大きく動き出している。

こうした中であつて、地球を滅亡させるだけの威力を持つ核兵器の存在は、全世界の脅威的であり、唯一の被爆国である我が国にとっては、まさに恐怖そのものである。

核兵器廃絶を願う当町にとって、フランス共和国、中華人民共和国両国が、平和を願う世界の潮流に逆らい、核実験を強行したことに対し、心から怒りを覚え、ここに厳重に抗議するとともに、全ての核保有国の核実験に反対する。

以上決議する。
平成7年9月13日

福岡県遠賀郡岡垣町議会

勉強と運動

平成7年度の遠賀郡町議会議員研修会が10月13日地元のサンリーアイで開催されました。

講師の藪野祐三九大教授は、地方分権が進んだ場合に自治体や住民の自己責任がいかに重要となるかについて、ユーモアを交えながら話され、非常に楽しく、有意義な研修会となりました。午後は、郡内議員の親睦と健康のためのグラウンドゴルフ大会が行われました。



熱が入るグラウンドゴルフのプレー風景

編集後記

今回の9月定例議会は、町長も無事手術を終え前より元気な姿の中で、開催されました。

今後も行政の代表者として、健康管理に十分気をつけて町民の要望、要求、町発展のために頑張つて欲しいと思います。

岡垣町では、町民の健康を願い、行政機関内に健康対策課を設け、健康づくりに取り組んでおります。

昨年度の国保の医療費は予想を大きく下回り、結果として黒字となりました。

これは関係者の努力の表れではないかと思えます。

議会も健康づくりに対しては、執行部と共に考えて行かなければなりません。

町民の皆様もアイデアやご意見がありましたらお気軽に下さい。 <大森>

議会広報委員会

- 委員長 勢屋康一
- 委員 大森忠勝
- 委員 竹井信正
- 委員 中村信光
- 委員 竹内和男

シリーズ 用語解説

【資産公開条例】

平成5年1月に「政治倫理確立のための国会議員の資産等の公開等に関する法律」が施行されました。

この法律がつけられた背景には、国会議員に係るさまざまな汚職や疑惑事件が発生し、金権政治

が大きな社会問題となり、政治不信が増大したことにあります。

一方地方政界においても多くの事件が発生しましたが、特にバブル全盛期に絡む不祥事件が連日のように新聞紙上を賑あわせました。

この法律は、国会議員や地方政治家（市町村議員を除く）の資産を公開し、国民の監視と批判の下に置くことにより、政治倫理を確立することを目的としてい

ます。

国会議員については平成5年から実施され、すでに資産や所得等について公開されています。

この法律の中で、知事・市町村長及び県・政令市（北九州市等）の議会議員は、平成7年12月末までに条例を定めて資産等を公開するよう定められています。

岡垣町においても9月の定例議会で「政治倫理確立のための岡垣町長の資産等

の公開に関する条例」が制定されました。

この条例は全文7条から成り、町長に、①不動産や一定基準以上の動産、②前年中の所得、③報酬を受け役員等をしている会社、等に関する報告書の提出を義務づけ、これを住民の閲覧に供することになっています。

この書類は5年間保存され、遅くとも、明年6月30日（一部については3月）以降はだれでも閲覧するこ

とができます。

地方自治体のこの件に関する条例の大半は、当町と同じ内容ですが、不祥事件の発生した団体では、もっと厳しい内容となっているところもあります。

いずれにせよ最終的には「政治家と名のつく人達や公務員は、法律・条例の有無に関わらず真の倫理を探究しなければならぬ責任がある。」と言うことに尽きると思えます。